

mail magazine
noichi

no.99_August 2019

Published by an e-mail magazine editorial department.
All rights reserved. © utanoichi okuda. No part of this publication may be reproduced without the written permission of the Publisher.



第九十九号

箏曲コンクール

メルマガnoichi99号、今月のテーマは「箏曲コンクール」。
八月初旬、福井県の吉崎御坊において箏曲コンクールが開催されました。
志高い若手の熱い演奏が会場中を魅了しました！



暑さも盛りの八月四日、若手発掘のため新しく生まれたばかりの箏曲コンクール「伝統芸能新世代コンクール」が福井県の吉崎御坊で行われました。私は審査員としてコンクールに伺い、若者の熱意ある演奏に接しました。前後の仕事の関係で、自家用車で東京から片道八時間をかけた移動でしたが、運転はマネージャーの新見くんにお任せだったので、私は外の景色を眺めたり仮眠をとったり、気楽なものでした。吉崎御坊は国指定の史跡で、観光地としても有名です。私は初めて訪れましたが、高村光雲作の蓮如上人像や遺跡、手入れの行き届いた公園や美しい入り江の景色が楽しめました。

このコンクールの主催は、日本文化の保存に尽力するジャポニズム振興会です。同会の副会長であり私の芸友である大谷祥子氏の意志に賛同し、ぜひご協力をさせていただきたいと思い、審査員のご依頼を快諾しました。私の他にもう一人、業界の第一線で活躍中の池上真吾先生が審査員でいらっしゃいました。

この事業には文化庁他の助成があり、優秀な演奏者には県知事賞、市長賞などが与えられる大変立派なコンクールでした。コンクールは小学生の部、一般の部の二部制でした。参加資格は四〇歳まで、小学校低学年から活躍中の専門家まで、参加者の分布は北陸三県を中心に、東京、京都からも数組ずつ、応募者は実に多様性に富み、一人一人が努力の成果を発揮してくれました。今回は知事賞に埼玉・東京で活動する箏曲家・尾上雅楽璃葉さん、市長賞に地元福井出身の箏曲家・後藤礼奈さんが選ばれました。以下各賞に小学生の入賞も何組もあり、発表されるたびに会場が湧きました。

コンクールの審査員は、これまでに何度か経験がありません。公平なジャッジをする上で全く気が抜けない大変な役目です。参加者が多いと緊張も長く続くので、平静を保ち、審査表を何度も見直して、最初と最後に審査基準のプ

レがないか公平性の徹底に努めます。難易度の高い曲には基礎点を高くしたり、音色や表現力など高い音楽性を感じた時には加点したり、専門家目線で評価基準を決めています。

このコンクールに参加できたことは、私にとって良い経験となりました。一つは、都会でない場所であったこと。わざわざ行かなければいけない場所に人が集まることで、作り出せる特別な環境があります。もう一つは、コンクールが若い人にとって明確な目標になること。結果的に優秀がつき、悔し涙を流す小学生の女の子を見て、この経験が彼女にとって大きな飛躍につながると思いました。

私にも夏休みの思い出がたくさんあります。私生活と違う特別な出来事ほど、青春の記憶として強く刻印されるものです。若者の瑞々しい舞台に接し、また交流を持ち、私

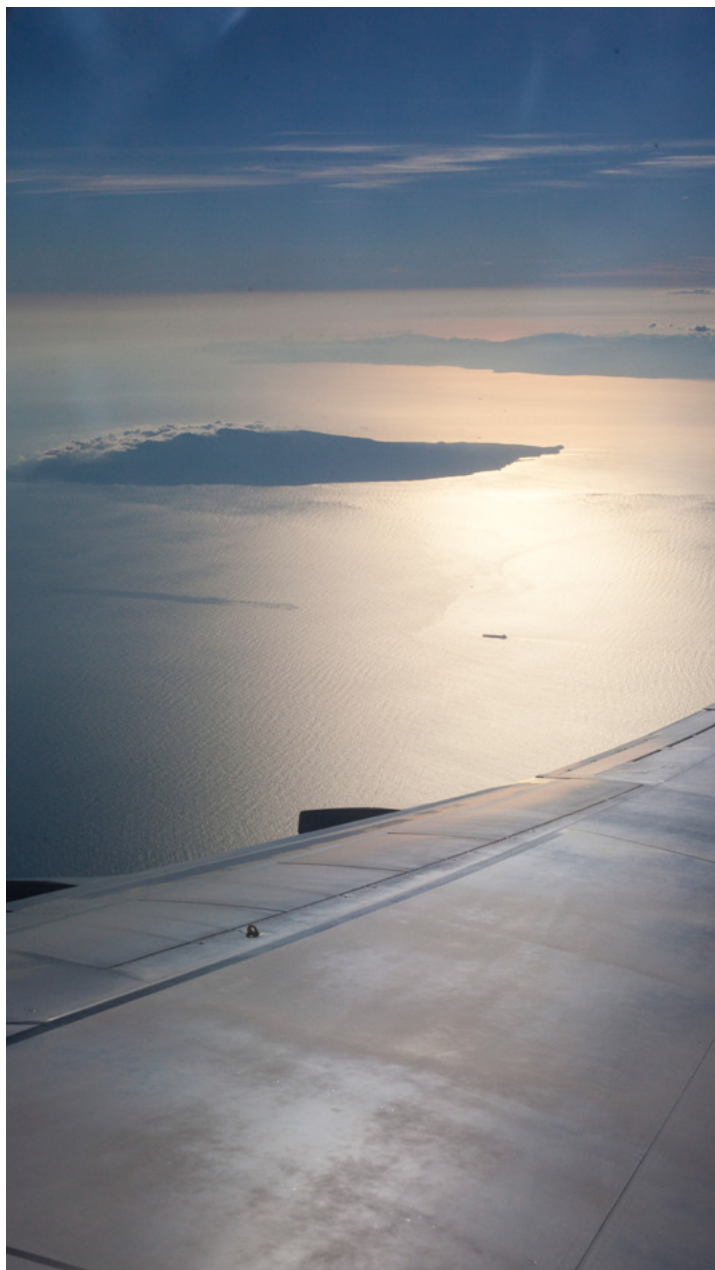


Illustration: morimoe

は心から幸せに思いました。この伝統芸能新世代コンクールは、若手の推進と奨励のため、来年も開催されるそうです。

◎あとかぎ◎

高校生のころ、美術部に所属していたせいもあって、絵画コンクールに出すことがよくあった。美術の先生がとてもやる気のある方だったから、出さないわけにもいかなかったという方がいかもしれない。美術の賞などといったところで、受験に有利になるわけでもない。最初は乗り気でなかったのだが、新聞にのったりして、クラスメイトにすごいねなんて言われると意外とうれしかった。上級生のころにはすっかりその気になってしまったから、人はゲンキンなものだ。

賞や名誉なんて、年をとってくるとますます興味なくなってくる。それでも若い人にはそういう挑戦はした方がいいと言うようにしている。スポーツと違って、美術などの場合、勝負がいまいだ。だからはっきりと負けた経験のない人が多い。特に最近はずべてにおいて競争させない傾向がある。だから負けや挫折に弱い臆病な人が多くなっている気がする。成功体験も大事だが、負けた後に自分の気持ちと折り合いをつける訓練も必要だ。高校の美術の先生はいつも「人と違うことに挑戦しなさい」と言ってくれた。いまでも最大の恩人だと思っている。

グラフィックデザイナー (http://www.1938.jp) みやはらたかお

